

事務事業名	甲西図書館資料提供事業		所属部局	教育委員会	単位番号	12459				
	<input type="checkbox"/> 実施計画事業		所属課室	市立図書館	課長名	滝沢 美保				
			所属担当	甲西図書館	担当者名	小田切 由美子				
基本政策	V	個性と文化を育む都市づくり	予算科目	会計 01	名称 一般	款 10	項 04	目 04	細目 060	細々目 06
政策	22	生涯学習ネットワークの整備充実	事業区分	<input type="checkbox"/> 国の制度による義務的事業 <input checked="" type="checkbox"/> 施設等維持管理事業 <input type="checkbox"/> 県の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> 補助金交付事業 <input type="checkbox"/> 市の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> その他の事業 <input type="checkbox"/> 義務化されている協議会等の負担金						
施策	35	生涯学習システムの推進								
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 15 年度)		法令根拠	図書館法 南アルプス市立図書館条例						
事務事業の概要	事業の内容・・・期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載 市民の暮らしに役立つ最新情報・資料の提供 ・購入する新聞・雑誌の検討 ・雑誌の受入と登録・配架 ・時事情報の収集(毎日) ・新聞の整理(毎日)		事業費の主な内訳 (26年度 決算見込)							
			項目(細節)	金額(千円)	項目(細節)	金額(千円)				
			消耗品費	548			計	548		

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と目標

① 活動		⇒		⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)数字は記入しない	
26年度活動内容	購入数 新聞 5紙 雑誌41誌			名称	単位
27年度活動予定	購入数 新聞 5紙 雑誌42誌			ア 新聞購入数	紙数
② 対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等				イ 雑誌購入数	誌数
図書館利用者				ウ	
③ 意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていけるのか、どのように変えるのか)				⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)数字は記入しない	
新聞や雑誌を利用する人が増え、貸出冊数が増える。				名称	単位
④ 上位目的(どのような結果に結び付けるのか)				ア 図書館利用登録者数(自館)	人数
図書館を身近に感じ、継続して図書館を利用してもらう。				イ	
				ウ	
				⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)数字は記入しない	
				名称	単位
				ア 雑誌の貸出冊数	冊数
				イ	
				ウ	
				⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)数字は記入しない	
				名称	単位
				ア 資料貸出数	点数
				イ	

(2) 事業費・指標の推移

年間トータルコスト	事業費	財源内訳	単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	最終	年度
				(決算・実績)	(決算・実績)	(決算見込・実績)	(予算・目標)	(計画・目標)	(計画・目標)	(トータルコスト・目標)	
		国庫支出金	千円								
		県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円								
		一般財源	千円	585	528	548	554	554	554		
		事業費計(A)	千円	585	528	548	554	554	554		0
	人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1	1		
		延べ業務時間	時間	80	80	80	80	80	80		
		人件費計(B)	千円	364	364	364	364	364	364		0
		(A)+(B)	千円	949	892	912	918	918	918		0
	活動指標	ア 紙数		6.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0		
		イ 誌数		42.0	41.0	41.0	42.0	42.0	42.0		
	対象指標	ア 人数		1,670.0	1,767.0	1,820.0	1,874.0	1,930.0	1,987.0		
		イ									
	成果指標	ア 冊数		4,357.0	5,098.0	5,250.0	5,408.0	5,570.0	5,737.0		
		イ									
	上位成果指標	ア 点数		53,904.0	54,804.0	56,448.0	58,141.0	59,885.0	61,681.0		
		イ									

(3) この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか?	平成15年の合併に伴う甲西支所の空きスペースを、平成17年7月23日に市立甲西図書館としてリニューアルオープンし運営を開始した。
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか? また、今後の予測は?	オープンの平成17年時の雑誌数は18誌、新聞0紙であった。市民のニーズにあった選書をし、現在は雑誌数42誌、新聞5紙を市民に提供し、利用者が増えている。
③ 事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか?	最新情報を提供できる雑誌・新聞数も増え、市民に喜ばれている。

(4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は?	<input checked="" type="checkbox"/> 取り組みしている ⇒【内容!】 <input type="checkbox"/> 取り組みしていない ⇒【理由!】
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	市民のニーズにあった選書をし、現在は雑誌数42誌、新聞5紙を市民に提供している。(平成24年度より新聞を1紙減) また、地域の情報として、地域の新聞記事を「甲西トピックス」として掲示し市民に情報提供している。
③ H 26年度に実施した改革改善の内容	地域の新聞記事のスクラップを充実させ、レファレンスなどにも活用してもらえるよう見やすく整備した。

事務事業名	甲西図書館資料提供事業	所属部	教育委員会	所属課	市立図書館
-------	-------------	-----	-------	-----	-------

2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？ 意図が上位目的に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由↓】 図書館は、知る権利、学ぶ権利を保障するところでもある。最新情報を提供することはこの事業に貢献している。
	② 公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？ 民間やNPO、市民協働に移行することは可能か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由↓】 所得等の格差に関係なく、市民が利用したり学んだりする権利を保障するところであるので市が行うことは妥当である。 事務事業の全部もしくは一部を外部に移行することが可能である。 <input type="checkbox"/> 民間・NPO <input type="checkbox"/> 市民協働
	③ 維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由↓】 市民にとって身近な図書館で、最新の情報を得るためには、新聞や雑誌の提供は必要である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 今後、工夫や努力をする事で、事務事業の目的に向けて現状よりも成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	<input type="checkbox"/> かなり向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> ある程度向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由↓】 雑誌の予約ができることなど、まだまだ図書館のサービスについて知らない人がいるので、PRにより周知していく必要がある。
	⑤ 類似事業との統合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることはできるか？	<input type="checkbox"/> 類似事務事業がある ⇒(類似する事務事業の名称を記入↓) <input type="checkbox"/> 統合・連携ができる ⇒【理由と具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 統合・連携ができない ⇒【理由↓】 どこに住んでいても利用でき、身近で最新情報を得るためには、現状が最適である。 <input checked="" type="checkbox"/> 類似事務事業がない
	⑥ 休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	<input type="checkbox"/> 影響なし <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】 格差なく最新情報を得ることができない。 <input checked="" type="checkbox"/> 休止・廃止ができる <input type="checkbox"/> 休止・廃止できない ⇒【理由↓】 どこに住んでいても利用でき最新情報を得るためには、休止・廃止はできない。
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 雑誌の予約ができるようになっていて、全館での利用が可能である。市内の図書館で複数購入しているタイトルのものは、購入部数を検討していく必要がある。
	⑧ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？(事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 正職員1人、常勤臨時職員2人の3人体制実施している事業のため、これ以上の削減の余地はない。サービスの低下につながる。
公平性 評価	⑨ 受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由↓】 利用者が誰でも等しく利用できる。

3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	・地域の新聞記事のスクラップを充実させ、レファレンスにも活用した。 ・市民が、図書館には多くの資料がそろっている事などの周知が広く行なわれるようにし、事業の活性化がより図れるよう一層の工夫が望まれる。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)・・・複数選択可	(3) 改革・改善による方向性																					
<input type="checkbox"/> 廃止(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> 事業統合・連携(有効性⑤の結果) <input type="checkbox"/> 公平性改善(公平性⑨の結果) <input type="checkbox"/> 休止(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> 成果向上(有効性④の結果) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(全評価項目で適切) <input type="checkbox"/> 必要性検討(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> コスト削減(効率性⑦、⑧の結果) <input type="checkbox"/> 終了	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト水準</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果水準</th> <th>向上</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> </table> ※ 廃止・休止の場合は記入不要			コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	維持	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
				コスト水準																		
		削減	維持	増加																		
成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	維持	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
(2) 改革改善案について	(5) 事務事業優先度評価結果 平成26年度																					
① 市内で複数購入している雑誌は、購入部数を見直して経費の削減を図るとともに、中央館の雑誌のタイトル数を充実させる。	<table border="1"> <tr> <td>成果優先度評価結果</td> <td>⑧</td> </tr> <tr> <td>コスト削減優先度評価結果</td> <td>⑥</td> </tr> </table>	成果優先度評価結果	⑧	コスト削減優先度評価結果	⑥																	
成果優先度評価結果	⑧																					
コスト削減優先度評価結果	⑥																					
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策																						
① 雑誌の予約規定の見直しをおこなうと同時に、予約サービスの周知を図る。 ② 購入雑誌タイトル数や部数の検討を市内全館でおこなう。																						